



3月号

十島村立  
口之島小中学校  
児童生徒会新聞  
3月22日発行

卒業目前！〇〇さんの最後の思い出作り

忘れられない最高の遠足



三月五日、お別れ遠足がありました。執行部のメンバーで企画や運営を行いました。僕が担当したケイドロの進行とセリフがありました。うまく進行、セリフを言うことができました。そして、僕はヘリポートに初めて行き、思っている以上に広くて思う存分遊べました。特に野球が楽しかったです。なぜならスポーツの中で野球が一番不得意で少ししか打てなかったけれど、最終的に負けてしまったけど打つ事ができ手ごたえを感じられたからです。

他の子どもにも感想をもらいました。

三月五日、とても楽しかったです。お別れ遠足が良かったです。途中で、雨が降ったのでちゃんとふれあい広場に行けるか心配でしたが、無事行けたので良かったです。

私が一番楽しかったのは野球です。赤組対白組でした。私はあまり打つのは上手くないので、ラケットで打ちました。打つと想像よりも飛んだのでびっくりしました。また何回か点を入れる事ができたので、うれしかったです。結果は、

と白組に分けて、みんなと



私はお別れ遠足を楽しみにしていました。一回目のレクリエーションでは、フリスビーをしました。赤組

と白組に分けて、みんなと

協力しながらしました。結果は、白組の勝ちです。私は赤組なので悔しかったです。二回目のレクリエーションでは、ケイドロをしました。結果は警察が勝ちました。みんなと、いろいろなどこをしてとても楽しかったです。《小三》  
僕は、お別れ遠足で〇×ゲームの司会をしました。司会をするのはやっぱり緊張してしまいました。最後にはみんなに楽しかったと言ってもらえて嬉しかったです。次にそういうことがあったら、また楽しかったと言ってもらえるようにしたいと思っています。《中二》  
これから自分が司会など運営をすることが増えてくると思うのでこのお別れ遠足で学んだことを次に繋げたいです。また、これまでみんなで作った思い出を胸にいい卒業式にしたいです。文責：中二

タモトユリ調査隊  
～まだ知られざる口之島の歴史～

口之島の不思議にせまる！

今年度最後の特集は、口之島で一番聴かれている曲ともいえる「十島のうた」についての不思議について調べてみました。みんな、どんな不思議があるかあげてみると、二十個以上の疑問が出てきました。そこで、まず、自分たちで歌詞の意

十島のうた  
作詞 内田 敬造  
作曲 迫田 武資

一 船が通る道  
波路はるかな三百キロの 海につらなる島々よ  
強い日ざしにみどりの木々が 夢と希望を呼びかける  
十島 十島 われらの十島

二 千島  
仰ぐガジュマルを根に根をはって ころもひとつの木の蔭よ  
月の夜道は ナゴランかおり 人の情けも身に沁みる  
十島 十島 ふるさと十島

三 臥蛇島  
臥蛇の寝台またたく海に 汽笛を鳴らしてゆく船よ  
諏訪の瀬岳も み空に燃えて 島の文化の朝がくる  
十島 十島 明けゆく十島

四 宝島  
海は海寺 山には宝 知島と汗とで拓こうよ  
潮のひびきに島から島へ きょうも教育の鐘が鳴る  
十島 十島 伸びゆく十島

- ①いつ、つくられた曲 昭和35年11月制定
- ②なぜ300キロメートル 鹿児島から宝島まで300km



十島村 教育長先生

味やどの島のことを歌にしたのか調べてみました。

しかし、多くの疑問が残りました。そこで、十島村教育委員会の有村教育長先生にインタビューを行いました。すると、作詞 内田敬三（うちだけいぞう）さん、作曲 迫田 武資（さこただけすけ）さんは、教育長先生の小学時代の先生だったのです。「作詞された内田先生は、武小学校の校長先生でした。作曲された迫田先生は音楽を教えて頂いていました。たまたまですが、『十島のうた』の作詞作曲の名前を見て、大変びっくりしました。」と語られ、インタビューがスタートしました。「なぜ全部文字数（五・七・五の曲調）が同じなのですか。以前は七・五調、五・七調といつて五音・七音や七音・五音の順序で繰り返す形式で詩が作られていました。リズムよく歌えるので明治以降に作られた文部省唱歌や校歌に多い詞の作りです。七音で始まる七五調は、優しく悠雅な

感じを与えることが特徴です。なぜ当て字がいっぱいなのですか？（たとえば「汽笛（きてき）」ではなく、「フエ」なの？）  
他の歌謡曲や流行歌にもある手法です。また、曲の歌詞は同じ音の数で作られることが多いです。汽笛の部分は1番「うみに」2番「こころ」  
3番「ふえを」4番「ちえと」  
すべて3音にそろえ、作者のセンスで歌いやすくするためだと思います。  
「なぜ「十島のうた」ではないかと「十島のうた」としたと考へられます。  
残りのインタビュー内容は次号に掲載予定です。また、調べる中で、口之島だけを表現する歌詞がないことに気づきました。そこで、口之島バージョンの「十島のうた」を作成中です。楽しみにしてください。文責：小五

# 十分間跳び続けられるか！

## 全集中なわびの呼吸 大縄の型 八の字

三月九日に、縄跳び大会がありました。縄跳び大会では、紅組、白組で分かれて行いました。持久跳びと八の字、全員跳び、そして個人発表でした。僕は、持久跳びは六分十五秒以上跳びました。全員で跳ぶ八の字跳びで紅組は二百四十四回で白組は二百五十回を跳んでいました。全員跳びは紅組は四百ポイント以上で白組は二百ポイント以上跳んでいました。結果は、縄跳び大会で優勝したのは、紅組でした。

紅組、白組それぞれのリーダーに感想を書いてもらいました。

赤白対抗、最初に何分間跳べるかチャレンジをしました。僕は、六分間跳ぶという目標だったので、三分三十秒ぐらいでひっかかりました。しかも、点数は、五十点ぐらいで悔しかったです。ただ紅組の二人が百四十点ゲットしたのでよかったです。次に八の字跳びをしました。これは、白組の方が多く跳んだのですが、次の長縄

《中二》

くやしかったです。けど、最高でした。私たち白組はくちつこ園児の〇〇君を含むチームでした。昼休みの練習などは、空き時間で〇〇君も来てくれたのですが、小・中学生よりも思ったよりまとめるのが難しかったです。しかし、小・中学生に負けじと集

# とうそうちゆう



小2 〇〇〇



文責：小五

# 10才おめでとう！

## 人生の1つの節目

三月四日(木)、十才を祝う会がありました。小学四年生の〇〇君は、「この日のためにたくさん練習してきた半成人式、十才を祝う会。主役はもちろん四年生だ。」とやる気満々で式に出ました。

「私たち三年生は、四年生に内緒で最後に使うくす玉を仕上げていました。私たちがくす玉の色をにじ色にぬりました。本番が始まり、「赤い屋根の家」をベルとけんばんハーモニカで演奏しました。四年生が親に手紙を渡すときは、親の人たちがよろこんでいたのでよかったです。最後のくす玉を引いても、失敗するというトラブルがおきましたが、4回リベンジして、やっとできました。四年生が親に感謝の気持ちを伝えられて、十才を祝う会は大成功でした。」と参加した小学三年生の〇〇さんは語りました。

十才を迎えた四年生にインタビューしました。

〇〇君は、「『大人になったら』と『十年間を通して』と、金管楽器の発表をしました。

音楽が自分でも満足いききました。」と答えました。〇〇君は、「みんなで息を合わせ演奏したり、お母さんへの手紙をわたしたり、三年生からのサプライズももらえたりして、一生に一度しかない十才を祝う会、大成功のいい思い出になってよかった。」と振り返りました。〇〇さんは「わたしが一番がんばったのは、スライドづくりです。スライドは、自分のプロフィールや将来の夢のために何ができかなどを発表しました。わたしは、その夢に向かってがんばっていいこうと思っています。」と決意を述べていました。

文責：中二



# BRYAN CORNER

Jazz

I love music. One of my favourite genres of music is jazz. I started listening to jazz in high school. In high school I took a photography class. The teacher was a big fan of jazz. He taught us about photography and jazz. I learned about shutter speeds, apertures, Miles Davis and John Coltrane in that class. I really enjoyed it. The African-American community in New Orleans developed jazz, combining European and African musical influences into one style. Some important characteristics of jazz are blue notes, improvisation, and call and response. If you have the chance, please listen to jazz. It is a very amazing style of music.

《ALT》



# 私のおススメの〇〇

私のおすすめの本は、「日本人の知らない日本語」です。

この本は、日本語学校で個人的な外国人達がいろいろな難しい質問をしてくれます。例えば「冷める」と「冷える」の意味、「歳」と「才」の違いなどです。このような質問に対して先生が一個一個適切に答えていきます。読み進めているだけで日本語の知識が増えて賢くなるかも・・・。

ぜひ自分の使っている日本語をもっと詳しく知りたい方は読んでみてください。

《中2》